

【古典文法 助動詞「べし」識別①】

問、次の文中にある傍線部の助動詞の意味を答えなさい。

- ① 人の歌の返し、疾くすべきを、え詠み得ぬほども、心もとなし。(土佐日記)
- ② 供の人は、「日もくれぬべし」とて、「御車うながしてむ」といふに(大和物語)
- ③ その後西方浄土の来迎のあづからむと思し召し、西に向かはせ給ひて御念仏さぶらふべし。(平家物語)
- ④ 入道殿、「かの大納言、いづれの舟にか乗らるべき。」とのたまはすれば、(大鏡)
- ⑤ 走り出づれば、地われさく。羽なければ、空をも飛ぶべからず。(方丈記)
- ⑥ 頼朝が首をはねて、わが墓の前に懸くべし。」と宣ひけるこそ罪深けれ。(平家物語)
- ⑦ はじめの矢に等閑の心あり。毎度ただ得失なく、この一矢に定むべしと思へ」と言ふ。(徒然草)
- ⑧ ふりはへ来たれど、わが睦まじき徒者もなし、たづねさすべき方もなし。(大和物語)
- ⑨ 家の作りやうは、夏をむねとすべし。冬は、いかなる所にも住まる。(徒然草)
- ⑩ 人にまさらん事を思はば、ただ学問して、その智を人にまさらんと思ふべし。(徒然草)
- ⑪ かたみに恋しう思し添ふことさまざまなれど、夢ならで通ひぬべき身ならねば、(夢の通い路物語)
- ⑫ 国の司、「民疲れ国ほろびぬべし」となむわぶるときこしめして、(大和物語)
- ⑬ 勅使には、調石笠と言ふ人を召して、駿河の国にある山の頂に持てつくべきよし仰せ給ふ。(竹取物語)
- ⑭ 言異なるものなれど、月の影は同じことなるべければ、人の心も同じことにやあらむ。(土佐日記)
- ⑮ 人は、かたち・ありさまのすぐれたらんこそ、あらまほしかるべけれ。(徒然草)

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑪	⑫	⑬	⑭	⑮

【古典文法 助動詞「べし」 識別①】 解答

問、次の文中にある傍線部の助動詞の意味を答えなさい。

- ① 人の歌の返し、疾くすべきを、え詠み得ぬ<sup>1</sup>ほども、心もとなし。(土佐日記)  
…「和歌の返しは、早くすべき」と訳すことができるので「当然」。下に「もの」が省略されている。
- ② 供の人は、「日もくれぬべし」とて、「御車うながしてむ」といふに(大和物語)  
…「ぬべし」は「きつとくだろう」と訳すため、「推量」と判断する。
- ③ その後西方浄土の来迎のあづからむと思し召し、西に向かはせ給ひて御念仏さぶらふべし。(平家物語)  
…「西にお向きになって御念仏をお唱えなさい」と訳すため「命令」。「軍記物語」は「命令」が多い。
- ④ 入道殿、「かの大納言、いづれの舟にか乗らるべき。」とのたまはすれば、(大鏡)  
…主語が三人称なので「推量」と判断する。「あの大納言はどれかの舟に乗るだろう」と訳す。
- ⑤ 走り出づれば、地われさく。羽なければ、空をも飛ぶべからず。(方丈記)  
…下に打消の助動詞「ず」が続いていることから「可能」と判断する。
- ⑥ 頼朝が首をはねて、わが墓の前に懸くべし。」と宣ひけるこそ罪深けれ。(平家物語)  
…「頼朝の首をはねて、墓の前に懸ける」と命じているため「命令」。「宣ふ」は尊敬語。
- ⑦ はじめの矢に等閑の心あり。毎度ただ得失なく、この一矢に定むべしと思へ」と言ふ。(徒然草)  
…「この一本の矢で（成功を）決めようと思え」と訳すため「意志」だと判断する。
- ⑧ ふりはへ来たれど、わが睦まじき従者もなし、たづねさすべき方もなし。(大和物語)  
…「なし」という否定の語が後ろにあるため「可能」と判断する。
- ⑨ 家の作りやうは、夏をむねとすべし。冬は、いかなる所にも住まる。(徒然草)  
…「家を作るときには、夏の住みややすさを優先して作るのがよい。」と訳すため「適當」だとわかる。
- ⑩ 人にまさらん事を思はば、ただ学問して、その智を人にまさらんと思ふべし。(徒然草)  
…「人にまさろうと思うならば、くと思った方がよい」と訳すことができるので「適當」と判断する。
- ⑪ かたみに恋しう思し添ふことさまざまなれど、夢ならで通ひぬべき身ならねば、(夢の通い路物語)  
…「夢でないときに通える身分ではないので」と訳すため、「当然」と判断する。
- ⑫ 国の司、「民疲れ国ほろびぬべし」となむわぶるときこしめして、(大和物語)  
…「ぬべし」は「きつとくだろう」と訳すため、「推量」と判断する。
- ⑬ 勅使には、調石笠と言ふ人を召して、駿河の国にある山の頂に持てつくべきよし仰せ給ふ。(竹取物語)  
…「帝」から「勅使」に対して指示をだした内容になるため「命令」と判断する。
- ⑭ 言異なるものなれど、月の影は同じことなるべければ、人の心も同じことにやあらむ。(土佐日記)  
…「言葉は違っているけれども、月の光は同じであるはず」と訳すため「当然」。
- ⑮ 人は、かたち・ありさまのすぐれたらんこそ、あらまほしかるべけれ。(徒然草)  
…主語が「人」で三人称だとわかるため「推量」と判断することができる。

① 当然	② 推量	③ 命令	④ 推量	⑤ 可能
⑥ 命令	⑦ 意志	⑧ 可能	⑨ 適當	⑩ 適當
⑪ 当然	⑫ 推量	⑬ 命令	⑭ 当然	⑮ 推量